

5年後の数値目標の設定根拠

基本目標1. 経済活動を盛んにする

■ 5年後の数値目標

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。市内の商工業の振興、起業・創業の支援、経営の安定、従業員の雇用、ワークライフバランスといった「しごと」面の安定や向上が、人口維持や若者が結婚して出産につながり人口が増加する、そして、顧客として消費行動につながり、「まち」の賑わいや地域の活性化につながるといった「好循環」を目指すための指標としました。

指標名	数値目標を定めた理由
事業所数	創業支援や起業者支援に取り組むことで働く場(しごと)の確保の視点から、市内の「事業所数」を指標とした。
従業者数	働く場の確保としての「事業所数」とあわせて、働き手の確保として「従業者数」を指標とした。
卸売・小売業販売額	市内の産業では、事業所及び従業員数は、「卸売・小売業」が全体の第1位となっている。(多摩地域でも事業所数・従業員数・年間販売額のすべてにおいて、第2位となっている。)しかしながら、近年減少傾向にあるため、商都としての町田の特性を示す指標として目標値に設定した。

基本目標2. 人々が交流するまちづくりを推進する

■ 5年後の数値目標

町田市を居住地として選んでいただくという視点に加えて、通勤や通学、買い物、観光など町田市を訪れる人と戦略的視点で掲げる「人と地域が主体となった豊かにすごせるまち」に焦点をあて、「人々が交流するまちづくり」という基本目標を設定した。そのため、「社会増減数」「滞在人口(休日)」「地域活動に参加している市民の割合」とした。

指標名	数値目標を定めた理由
社会増減数	総合戦略で掲げる施策は、人口減少克服を目指すものです。(まちだ未来づくりプランにおいて人口減少の克服に寄与する施策を抽出している) 人口ビジョンで展望した将来人口推計値に照らした目標値を設定し、進捗を確認する指標とした。
滞在人口(休日)	「休日の滞在人口」では、市外からの滞在者数に注目しました。これは、市外からの来街者の増加として、商店街の活性化や観光面での具体的な施策の取組の効果を期待する指標として設定した。
町内会・自治会などの地域活動に参加している市民の割合	まちだ未来づくりプロジェクトで掲げる地域の課題を多様な担い手の連携と協働により取り組む地区協議会の設立が進んでいる。 今後、地域活動に参加する市民が増加し、人々が交流するまちづくりが推進されていることを示す指標として設定した。 【まちだ未来づくりプラン未来づくり指標】

基本目標3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

■ 5年後の数値目標

人口ビジョンにおける将来人口の展望においては、出生率の改善、若い世代の流入による年齢構成のバランスの保持を掲げている。人口減少・超高齢化において、町田市は子育てしやすい・子育てが楽しい都市としてシティプロモーションを行い子育て層を呼び込み、出産・子育てを促進する施策の指標(取り組み)として設定した。

指標名	数値目標を定めた理由
合計特殊出生率	「全国よりも低い出生率」に対して、町田市人口ビジョンでは2030年までに全国水準1.43へ改善すると展望した。 若い世代が働きやすく、地域で安心して出産・子育てができる環境づくりを目指す施策を展開することで、出生率の向上につながるとし、進捗を確認する指標とした。
子育てが楽しいと感じる保護者の割合	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援として、市内で医療、保育等が量的にも確保され、困ったときに相談できる体制を目指した施策を展開しています。 地域で安心して出産・子育てができる環境が実現した際の指標として、「子育てが楽しいと感じる」としました。 【まちだ未来づくりプラン未来づくり指標】
待機児童数	共働きの増加などを背景とする保育需要の高まりに対応し、仕事と両立しながら子育てしやすい環境を確保するための指標として設定しました。 【まちだ未来づくりプラン未来づくり指標】

基本目標4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

■ 5年後の数値目標

人口ビジョンで抽出した課題(高齢化への対応)や人口の将来展望(流入超過維持)に対応した目標を設定した。バス交通に対する施策や駅周辺の交通強化やまちづくりに対する取り組みにより、交通や買い物の利便性に対する市民意識調査の指標を設定いたしました。

指標名	数値目標を定めた理由
65歳健康寿命(要支援1) ※65歳健康寿命 (東京保健所長会方式) =65+65歳の人が要介護認定を受けるまでの期間の平均	「高齢者の増加、高齢化率の急速な上昇」に対して、人口ビジョンの方向性としては「安心して元気に暮らしつづけられる」ことを目指し、それによって「医療介護負担が軽減」するしました。 健康づくりの拠点や支援体制を構築し、高齢者が生きがいを持って健康に暮らせるまちづくり、相互に助け合いながら暮らせるまちづくりに向けた施策を展開し、65歳健康寿命延伸を指標に設定しました。
自動車での移動の際、交通の流れに満足している市民の割合	町田市は、鉄道が市域の外縁部を通過しているため、市域の中心部や鉄道駅までは、バスが公共交通の中心となっています。また、自家用車の利用の依存が高く、市内には慢性的に交通渋滞が発生する箇所があります。市内の拠点への公共交通を充実させる取組みを進めることで、交通の流れに満足している市民の割合を指標としました。 【まちだ未来づくりプラン未来づくり指標】
食料品や日用品などの買い物の利便性に満足している市民の割合	まちだ未来づくりプランのまちづくり基本目標「暮らしやすいまちをつくる」の基本政策「良好な住環境のまちをつくる」で設定している指標を設定した。身近な地域で必要なサービスが受けられ、買い物の利便性に満足するコンパクトな市街地形成を目指します。 【まちだ未来づくりプラン未来づくり指標】
治安が良いと感じる市民の割合	市民、市、事業者、警察、その他関係機関が連携して、「安全で安心して暮らせるまち」を構築するために「町田市安全安心推進まちづくり計画」を策定し、犯罪対策などを行っております。体感治安として掲げる目標値を設定しました。 【まちだ未来づくりプラン未来づくり指標】